

不適合情報

2017年4月11日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックをご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	原子炉安全の観点から見たグレード
1	5号機	原子炉補機冷却海水系ポンプ(B)の点検時、電動機用端子箱内で動力ケーブル1相の端子接続不良により当該部が変色していることを確認した。当該事象の原因を調査し修理。	GⅢ以下

3. GⅢグレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	1号機	原子炉補機冷却中間ループ系熱交換器(A)貝殻除去装置ブロー弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	
2	4号機	軽油タンク(A)油面計用電線管の樹脂注入口部品の脱落を確認した。当該部を点検・修理。	
3	7号機	コントロール建屋1階南側トレイダクト室壁面の穴あけ作業時、コンセント用埋設電線管(樹脂製)およびケーブルを損傷させたことを確認した。作業前にコンセント設備の安全処置済み。当該設備を点検・修理。	
4	その他	荒浜側焼却設備排ガスブロワの振動が大きいことを示す警報が発生し自動停止したことを確認した。当該事象の原因を調査。なお、その後の起動において同様な事象の発生なし。	
5	その他	屋外の特定重大事故等対処施設に関する排水管の設置作業に従事していた協力企業作業員が、排水管(ポリエチレン製)をカッターナイフにて切断する際に、誤って右足太もも内側を切ったことを確認した。業務車にて病院へ搬送、治療し帰社(不休)【2017年4月7日公表済み】 http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/press/pdf/2017/29040701p.pdf	